資料１

吹田市地域医療推進懇談会の進捗について

（１）吹田市地域医療推進懇談会　今年度の進め方　資料 1-1

（２）平成 30 年度吹田市地域医療推進懇談会作業部会について　資料 1-2

（３）在宅医療の推進等にかかる市民啓発について　資料 1-3

（４）市内病院の在宅療養患者への対応状況について　資料 1-4

（５）医療機関・介護サービス事業者情報検索システム「すいた年輪サポートなび」における医療機関情報の掲載について　資料 1-5

（６）大阪府豊能保健医療協議会等イメージ図　資料 1-6

吹田市地域医療推進懇談会　今年度の進め方

資料1-1

1　目指す姿と検討すべき対策の柱

目指す姿

○将来の在宅医療の医療需要に見合った在宅医療の供給体制の整備
○医療関係者及び多職種の連携により、安心で質の高いケアの提供体制の構築（※）
○在宅医療やかかりつけ医等についての市民理解の促進

（※）在宅医療・介護連携推進事業とあわせて推進

1　在宅医療を支える連携体制の構築

①医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討
（医師のグループ化等による連携や引継ぎ等）

②訪問看護の事業所間の協力支援体制の構築（ネットワーク化）

③病病連携・病診連携等の促進
急変時における入院受入れ体制の検討（バックベッドの問題）、
情報共有による連携促進の工夫（地域連携パス・ICTの研究・医療資源等のリスト化）
病院連携室の対応の均てん化　等

2　医療関係者等の理解や知識・スキルの向上

在宅医療や在宅療養、在宅看取り等についての知識や理解、技術の向上
（診療所医師・病院医師・病院看護師・退院支援担当者・薬剤師・歯科医師・施設職員等）

3　市民への啓発・情報提供

適正な病床機能やかかりつけ医、在宅医療という選択肢、最期の迎え方等について、市民啓発や情報提供のあり方の検討

2　平成30年度の進め方

懇談会（年3回）と作業部会（年3回）を開催予定。
作業部会では、訪問看護の諸課題についての対策案を検討（資料2-2）。
対策の柱ごとに、関係機関においても具体的な対策案や取組みについてご検討、推進いただきたい。

検討すべき対策の柱		機関		検討事項・取組みの概要
1　在宅医療を支える連携体制の構築	①医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討	**医師会**高齢者対策委員会等		**看取りの時期が近い方の医師の代理体制、重症化した方の対応可能な診療所の紹介、強化型在支診のためのグループ化等について、具体的検討を進めていただく**
	②**訪問看護**の事業所間の協力支援体制の構築	介護保険事業者連絡会（訪問看護部会）と市	**作業部会**	**人材確保策や、事業所間及び病院看護師等との連携**についての具体策を検討していく
	③病病連携・病診連携等の推進	懇談会		**病院の在宅療養患者への対応状況についての情報提供、医療や看護のスキル提供を介した病病連携のあり方等について、懇談会等にてご協議いただく**
2　医療関係者等の理解や知識・スキルの向上	在宅医療や在宅療養、在宅看取り等についての知識や理解、技術の向上	懇談会構成各機関		他機関の例を参考にしながら、各主体において、自院及び広く自院以外の医療関係者も対象とするような研修会等を、引き続き実施・ご検討いただく
		市		**（仮）病院医師及び看護師対象の研修会実施の検討**
3　市民への啓発・情報提供	病床機能やかかりつけ医、在宅医療という選択肢、最期の迎え方等について、市民啓発や情報提供	市 懇談会構成各機関		**市主催の講演会の実施予定** 各主体も市民に向けた啓発の実施をご検討いただきたい

３　年間スケジュールのイメージ

懇談会

第1回
・今年度の進め方
・医療や看護のスキル提供を介した病病連携　等

第2回
・作業部会の進捗報告、検討
・病院医師等対象の研修会（案)等

第3回
・作業部会の報告、検討
・今年度の取組状況（医師の連携体制の検討等）の確認　　等

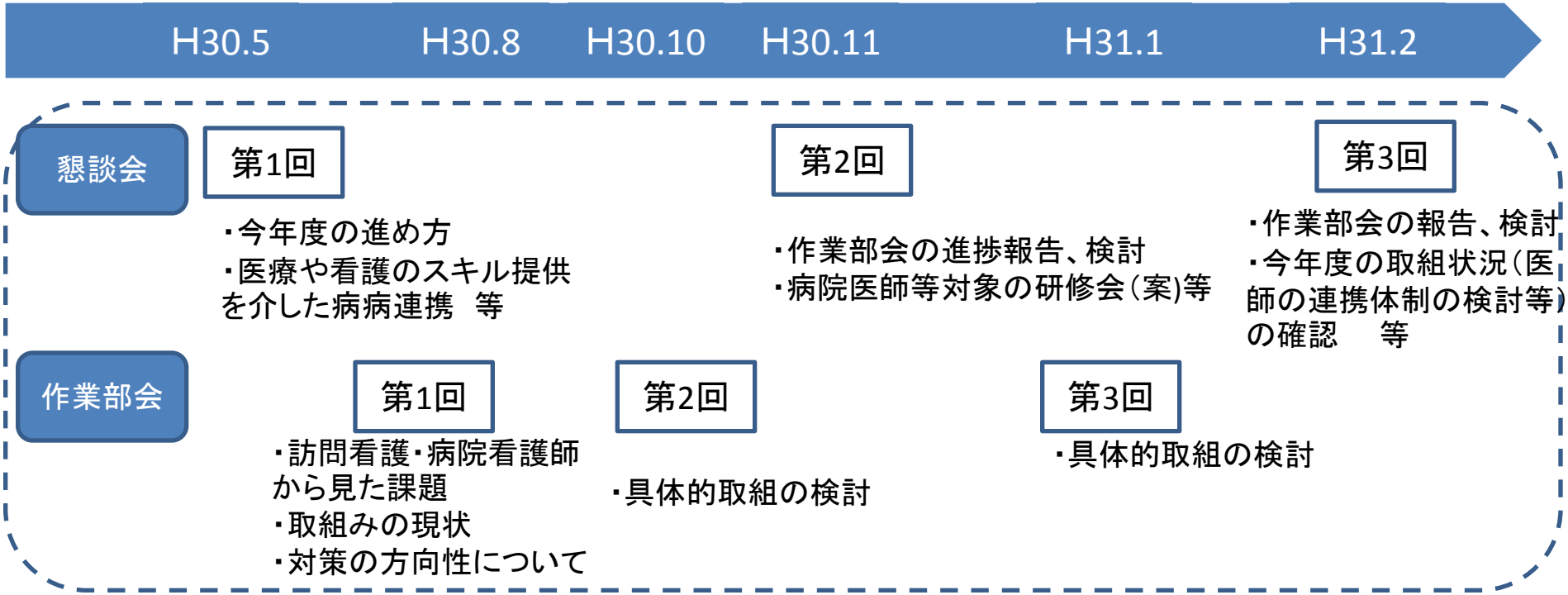
作業部会

第1回
・訪問看護・病院看護師から見た課題
・取組みの現状
・対策の方向性について

第2回
・具体的取組の検討

第3回
・具体的取組の検討

（※）各回の開催時期及び内容は、日程調整や議論の進捗状況等により変更の可能性あり



（※）各回の開催時期及び内容は、日程調整や議論の進捗状況等により変更の可能性あり

資料１－２

平成 30 年度　吹田市地域医療推進懇談会　作業部会について

１　平成 30 年度の作業部会の趣旨

吹田市地域医療推進懇談会での議論において、在宅医療における訪問看護の果たす役割の重要性についての意見が出された反面、訪問看護の人材確保や人材育成、事業所同士あるいは病院との連携等についての課題も挙げられました。

また、病院の医師や看護師等の在宅医療に関する理解促進や退院支援の充実も大きな課題の一つとされています。

一方、一部の病院において、病院も在宅医療の一員であるとの認識のもと、病院の看護師と地域の訪問看護事業所等との連携についての取組も増えてきています。

それらを踏まえ、在宅療養患者を支える看護職の連携促進と訪問看護の活性化等のための具体的対策について、作業部会にて議論を行います。

２　構成員

懇談会委員の病院の看護部より（５）
（大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、
済生会千里病院、済生会吹田病院）
吹田市介護保険事業者連絡会訪問看護部会（２）
大阪府訪問看護ステーション協会豊能ブロック教育ステーション（１）
大阪府吹田保健所（１）

３　作業部会の組織

部会長を置かず、進行は市が実施

４　作業部会での論点

訪問看護師の人材確保及び人材育成について
病院看護師と訪問看護師の連携について　等

５　回数　３回開催

【１回目】
- これまでの議論の振り返り（訪問看護からみた課題）
- 病院看護師からみた課題
- 病院及び訪問看護（事業所連絡会、協会）が行っている取組みの現状
- どのような対策が必要か

【２回目】
- 対策の方向性について
- いくつか具体的に議論

【３回目】
- いくつか具体的に議論

資料１－３

在宅医療の推進等にかかる市民啓発について

１　平成 29 年度　吹田市地域医療推進市民シンポジウムの報告

（１）日時　　平成 30 年 2 月 3 日（土）13 時から 15 時 45 分まで

（２）場所　　吹田市立勤労者会館　大研修室

（３）内容　　基調講演「地域医療構想・医療計画が求められているのは何故か」
～今、日本が直面する危機～
講演者：今村　知明氏（奈良県立医科大学　公衆衛生学講座）

シンポジウム「病院の機能と役割分担」「在宅医療を支える医療体制」
司会：吹田保健所長
パネリスト：吹田市医師会、吹田市歯科医師会、吹田市薬剤師会、
国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、
協和会病院、医師会立訪問看護ステーション

（４）参加者　210 名

２　平成 30 年度　吹田市地域医療推進市民講演会について

（１）日時　　平成 30 年 7 月 14 日（土）13 時 30 分から 15 時 30 分まで

（２）場所　　メイシアター　集会室

（３）内容　　テーマ「知っていますか？在宅医療について」～在宅療養という選択肢～

講演「在宅医療について　～在宅療養という選択肢～」（60 分）
講演者：沖代　奈央氏（おきしろ在宅クリニック）

講演「地域に寄り添う訪問看護」（30 分）
講演者：上山　美紀氏（吹田市介護保険事業者連絡会訪問看護部会
協和訪問看護ステーション所長）

（４）定員　　130 名

市内病院の在宅療養患者への対応状況について

資料1-4

各病院の入院については、患者の状況や病院側の満床等の状況によって、受け入れが難しい場合があります。
※本資料は医療関係者専用の情報ですので、市民への提供はお控えください。

平成30年5月　吹田市地域医療推進室　作成

病院名	連絡窓口	病床数	病床機能（病床機能報告より）	地域包括ケア病棟	緩和ケアの提供	レスパイトへの対応	在宅療養支援に関する施設基準	認定看護師の有無		特記事項	【参考】二次救急告示
								項目	訪問対応		診療科目
国立循環器病研究センター 吹田市藤白台5-7-1	専門医療連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～19:00 上記以外（緊急受診はホットラインへ）	612床 （一般612床）	高度急性期：612床 急性期：0 回復期：0 慢性期：0	—	—	—	—	皮膚・排泄ケア 感染管理 認知症看護 脳卒中リハビリテーション看護 集中ケア	× × × × ×	国循ホットライン 24時間365日受付 脳卒中　●●●-●●●● 心臓疾患　●●●-●●●● 周産期　●●●-●●●●	循環器内科 神経内科 産科
大阪大学医学部附属病院 吹田市山田丘2-15	保健医療福祉ネットワーク部 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:30～17:00	1,086床 （一般1,034床） （精神52床）	高度急性期：20床 急性期：1,004床 回復期：0 慢性期：0	—	がん診療拠点病院	—	—	皮膚・排泄ケア 感染管理 緩和ケア がん化学療法看護 糖尿病看護 慢性呼吸器疾患看護 慢性心不全看護 がん放射線療法看護	× × × × × × × ×	診療情報提供書　必要	
大阪府済生会吹田病院 吹田市川園町1-2	地域医療センター 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　8:30～20:00 土曜　9:00～12:30	500床 （一般500床）	高度急性期：26床 急性期：474床 回復期：0 慢性期：0	—	大阪府がん診療拠点病院	—	地域医療支援病院	皮膚・排泄ケア 感染管理 乳がん看護 緩和ケア 認知症看護 救急看護 新生児集中ケア がん化学療法看護 慢性呼吸器疾患看護 糖尿病看護	○ ○ ○ ○ ○ ○ × × × ×	診療情報提供書　必要 急性期治療を要する在宅療養中の患者さんの受入れは、常時行っている。 専門看護師取得者あり ・急性・重症患者看護 （訪問対応×）	内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 産婦人科 小児科（第2・4木）

市内病院の在宅療養患者への対応状況について

資料1-4

各病院の入院については、患者の状況や病院側の満床等の状況によって、受け入れが難しい場合があります。

※本資料は医療関係者専用の情報ですので、市民への提供はお控えください。

平成30年5月　吹田市地域医療推進室　作成

病院名	連絡窓口	病床数	病床機能（病床機能報告より）	地域包括ケア病棟	緩和ケアの提供	レスパイトへの対応	在宅療養支援に関する施設基準	認定看護師の有無		特記事項	【参考】二次救急告示
								項目	訪問対応		診療科目
大阪府済生会 千里病院 吹田市津雲台1-1-6	患者支援センター 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　8:50～20:00 土　　8:50～15:30	343床 （一般343床）	高度急性期：43床 急性期：300床 回復期：0 慢性期：0	—	大阪府がん診療拠点病院 緩和ケア・化学療法の各医療チームとがん相談支援センターとを統合し、がん診療を集学的にサポートするがん総合診療センターを組織して、がん相談外来やがんサロン等も運営	応相談	在宅療養後方支援病院	皮膚・排泄ケア 認知症看護 感染管理 慢性呼吸器疾患看護 がん性疼痛看護 摂食・嚥下障害看護 乳がん看護 救急看護 集中ケア がん化学療法看護 （△については、派遣を検討中）	× △ △ △ △ △ △ △ △ △	特定行為研修修了者（感染症管理モデル）がいる	内科 外科
市立吹田市民病院 吹田市片山町2-13-20	地域医療連携部 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～20:00 土曜　9:00～13:00	431床 （一般431床）	高度急性期：2床 急性期：389床 回復期：40床 慢性期：0	あり （40床）	大阪府がん診療拠点病院 緩和ケアチームあり 緩和ケア外来あり（緩和ケア病棟なし）	—	—	がん化学療法看護 摂食・嚥下障害看護 感染管理 緩和ケア 皮膚・排泄ケア 救急看護 糖尿病看護 認知症看護	× × × × × × × ×	当院かかりつけの在宅療養患者は受け入れる方針 専門看護師等取得者あり ・地域看護専門看護師 ・母性看護専門看護師 ・認定看護管理者 （いずれも訪問対応×）	内科 外科 脳神経外科 整形外科 小児科（月火水土）
吹田徳洲会病院 吹田市千里丘西21-1	医療介護連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:00 土曜　9:00～12:30 上記以外（日・祝・時間外は医事課で受付対応・救急外来で24時間診療）	365床 （一般265床） （療養100床）	高度急性期：20床 急性期：245床 回復期：0 慢性期：100床	—	緩和ケア病棟あり	応相談	在宅療養後方支援病院	集中ケア がん化学療法看護 皮膚・排泄ケア	× × ×	在宅療養後方支援病院に力を入れている。 PET-CT他、医療機器の共同利用を促進している。 介護老人保健施設併設	内科 循環器内科 消化器内科 外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科

市内病院の在宅療養患者への対応状況について

資料1-4

各病院の入院については、患者の状況や病院側の満床等の状況によって、受け入れが難しい場合があります。
※本資料は医療関係者専用の情報ですので、市民への提供はお控えください。

平成30年5月　吹田市地域医療推進室　作成

【参考】

病院名	連絡窓口	病床数	病床機能（病床機能報告より）	地域包括ケア病棟	緩和ケアの提供	レスパイトへの対応	在宅療養支援に関する施設基準	認定看護師の有無		特記事項	二次救急告示
								項目	訪問対応		診療科目
協和会病院 吹田市岸部北1-24-1	地域医療福祉連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　8:30～17:00 土曜　8:30～12:30 上記以外（救急・急患対応）	301床 （一般301床）	高度急性期:0 急性期:59床 回復期:124床 慢性期:118床	あり （38床）	―	応相談	―	皮膚・排泄ケア 脳卒中リハビリテーション看護	× ×	診療情報提供書　必要 急性期、回復期、慢性期を有するケアミックス型病院 2002年　回復期リハビリ病棟開設 2016年　地域包括ケア病棟開設 介護老人保健施設、居宅介護事業所併設 専門看護師取得者あり ・慢性疾患看護（訪問対応×）	内科（月火金） 整形外科（水木）
大和病院 吹田市垂水町3-22-1	地域連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:00	175床 （一般131床） （療養44床）	高度急性期:0 急性期:0 回復期:0 慢性期:131床	（取得予定） （病床数未定）	―	応相談	―	―	―	―	内科
皐月病院 吹田市寿町2-7-24	地域連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:00 土　　9:00～12:00	136床 （一般76床） （療養60床）	高度急性期:0 急性期:0 回復期:0 慢性期:136床	―	―	応相談	―	―	―	―	―
井上病院 吹田市江の木町16-17	地域医療連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:00 土曜　9:00～17:00	127床 （一般127床）	高度急性期:0 急性期:86床 回復期:0 慢性期:0	あり （41床）	― ※必要なら行う	応相談	―	認定看護管理者	×	診療情報提供書　必要 2016年　地域包括ケア病棟開設	外科（木） 整形外科（木）

市内病院の在宅療養患者への対応状況について

資料1-4

各病院の入院については、患者の状況や病院側の満床等の状況によって、受け入れが難しい場合があります。
※本資料は医療関係者専用の情報ですので、市民への提供はお控えください。

平成30年5月　吹田市地域医療推進室　作成

【参考】

病院名	連絡窓口	病床数	病床機能（病床機能報告より）	地域包括ケア病棟	緩和ケアの提供	レスパイトへの対応	在宅療養支援に関する施設基準	認定看護師の有無		特記事項	二次救急告示
								項目	訪問対応		診療科目
甲聖会紀念病院 吹田市江の木町7-1	地域医療連携室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:00 土曜　9:00～17:00 上記以外（緊急の場合は24時間対応）	116床 （療養116床）	高度急性期:0 急性期:0 回復期:30床 慢性期:86床	あり （30床）	―	あり	―	皮膚・排泄ケア	○	診療情報提供書　必要 リハビリ・STによる嚥下訓練等に力を入れている	―
大阪市立弘済院附属病院 吹田市古江台6-2-1	患者支援部 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:30	90床 （一般90床）	高度急性期:0 急性期:90床 回復期:0 慢性期:0	―	―	応相談	―	認知症看護 摂食・嚥下障害看護	× ×	診療情報提供書　必要 認知症疾患医療センター ・もの忘れ外来 ・若年性認知症外来 ・各種患者家族支援 骨粗しょう症外来	―
北摂三木病院 吹田市岸部中4-25-6	①MSW　畑中 ②看護師長　伊坂 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　8:30～17:00	49床 （一般49床）	高度急性期:0 急性期:0 回復期:0 慢性期:49床	― （平成31年取得予定）	応相談 緩和ケア病棟なし	応相談	―	―	―	診療情報提供書　必要 胃瘻造設　交換可能 CVポート造設可能 在宅復帰できるよう取り組んでいる。 整形外科疾患・リハビリテーションに力を入れている。 褥瘡対策に力を入れている。 常勤医は、内科3名（うち2名は外科経験あり）、整形外科1名	―
榎坂病院 吹田市江坂町4-32-1	医療福祉相談室 06-●●●-●●●● 連絡対応可能時間 平日　9:00～17:00 土　9:00～17:00	360床 （精神360床）	―	―	―	―	―	―	―	―	精神科

資料１-５

医療機関・介護サービス事業者情報検索システム「すいた年輪サポートなび」における医療機関情報の掲載について

本システムは医療機関や介護保険サービス事業所に関する市民への適切な情報提供及び、医療・介護関係者の連携促進を目的として、平成 29 年 11 月から本市ホームページ上で運用を開始。

○　市民向け情報公開サイト「けあプロ・navi」

市民向け情報公開サイトに、医療機関（病院・診療所・歯科診療所・薬局）に関する情報を 4 月 27 日（金）より公開開始。

【掲載項目】医療機関名称、住所、電話番号、診療科目（病院・診療所のみ）

○　関係者向け情報公開サイト「ケア倶楽部」

市内の医療・介護関係者のみが閲覧（ＩＤ・パスワードが必要）可能な関係者向け情報公開サイトに、医療機関の詳細情報掲載に向けたシステム構築中。本年６月頃に公開予定。

○　その他

http://www.u-system.com/u-wins/suita/

※市ホームページのトップ下画面下部、ピックアップコンテンツから入れます。

（バナーイメージ）

（ＱＲコード）

資料１－６

【平成３０年度】大阪府豊能保健医療協議会等イメージ図

大阪府豊能保健医療協議会

設置条例：大阪府附属機関条例

（追加）地域医療構想策定にかかる協議を兼ねる

懇話会の意見を受けて意思決定

集約された意見を報告

それぞれの懇話会の意見を集約

懇話会間の情報共有

豊能薬事懇話会	豊能歯科保健懇話会	豊能医療・病床懇話会	豊能救急懇話会	豊能在宅医療懇話会
事務局：池田保健所	事務局：豊中市保健所	事務局：吹田保健所	事務局：吹田保健所	事務局：豊中市保健所

豊能精神医療懇話会
事務局：豊中市保健所

設置要綱：
大阪府地域保健医療推進懇話会設置要綱

情報提供・報告　等

地域連携クリティカルパス推進事業

各圏域で要綱設置

心血管疾患	脳卒中	糖尿病	がん
事務局：吹田保健所	事務局：豊中市保健所	事務局：池田保健所	事務局：市立豊中病院
検討会	検討会	検討会	ネットワーク協議会
ワーキング会議	ワーキング会議	ワーキング会議	各部会
		豊中市域調整会議 池田市域調整会議 箕面市域調整会議 吹田市域調整会議	

※ワーキング会議は必要に応じて適宜開催

平成３０年度大阪府健康医療部部局運営方針_抜粋

■在宅医療の充実

今後の在宅医療のニーズ増大と多様化を見据え、在宅医療の需要に応じたサービス量の確保、在宅医療の質の向上、地域包括ケアシステム構築に向けた体制整備に向け、以下の取組みを推進。

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	◇成果指標（アウトカム）
(1) 在宅医療サービスの基盤整備	
・訪問診療の拡充 ➤在宅医療に携わる医療従事者への理解促進研修 ・薬局の在宅医療への参画推進 ➤薬局・薬剤師への訪問看護薬剤管理研修 ・訪問看護の拡充 ➤看護学生へのインターンシップ、潜在看護師等への職場体験実習を開催 ➤訪問看護ステーションへのICT導入等の支援	（定性的な目標） ・訪問診療を実施している病院・診療所の増加 【参考】 平成26年：2,156か所 ・訪問看護師数の増加 【参考】 平成28年：4,257人 （数値目標） ・在宅患者調剤加算（*6）の届出を行った薬局数を50件/年増加させる。 平成29年1,539機関→平成35年1,830機関* （*第7次医療計画最終年目標
(2) 二次医療圏ごとに在宅患者の急変時の受入体制の確保	
➤病院で後方支援体制整備の支援	（定性的な目標） ・在宅療養後方支援病院の増加 （平成29年：33機関）
(3)在宅医療で安心して最後まで暮らすことのできる人材・機能の確保	
・医療機関のICT導入等による連携体制構築を支援 ・医師・医学生に対し同行訪問の実習・体験 ・在宅療養者の経口摂取を支援する歯科チーム養成研修 ・訪問看護師のキャリア別専門研修の実施 ・8医療圏毎に多職種連携研修等の実施	（数値目標） ・府の支援により在宅看取りまで対応できる医療機関の増加（10機関）
(4)円滑な在宅復帰を支える人材・機能の確保	
看護師に対し、退院支援研修を実施。	（定性的な目標） ・退院支援加算を算定している病院・診療所数の増 （平成29年：248か所）
(5)地域包括ケアシステムの構築に向けた体制の整備（医療と介護の連携）	
・在宅医療・介護連携推進事業（市町村事業）のうち、医療に係る専門的・技術的対応が必要な点について、市町村の実情を踏まえた支援を実施。 (スケジュール) ～平成30年９月：市町村の取組み実態把握 先進事例のモデル作成 ～平成31年3月：市町村向け研修会	（定性的な目標） 介護支援連携指導料を算定している病院・診療所数 【参考】平成27年：254か所